



## 感謝していること



理事 豊泉 良

平成19年4月にそれぞれの成り立ちも理念も歴史も異なる、東京都内の4つの団体が統一して、東京都民間保育園協会が発足し早15年が過ぎました。またそれまでの過程で、東京都保育団体協議会内の「団体統一を考えるプロジェクト」から独立した型の「新団体設立準備委員会」の陪席として少しばかりお手伝いをさせて頂く御縁に恵まれました。

ここで思い出されるのは、陪席として会議に出席して発言した際に厳しいお言葉を頂いたこと。まだ30代半ばのヒヨッコ青二才だったことを今にして感じています。

当時私は「日保協多摩支部研修部」に在籍していました。開催する「保育所保育実践研修会」は研修部だけではなく支部全体の一大行事として行われ、立川グランドホテル（当時）での宿泊研修は企画・立案・準備が大変でしたが、充実した良い経験となりました。その当時の支部長は長澤先生、副支部長は研修部相談役兼務の西川先生、事務局長は現民保協会長の宮崎先生という大変強力な御布陣。諸先輩園長先生方の見様見真似と適切なお指導で、何とか末席者として少しばかりのお役に立てたのであれば幸いです。この頃の研修会の開催方法や趣旨・手段（研修対象者の職種や適切な受講者数、講師の選定、会場の検討等）は私にとって非常に新鮮であり、いくつもの案を同時に調整しながら遂行するのはナカナカ頭をひねりながらやるものだな～、と。これはホントに勉強になりました。こういった物事の進め方、采配は今でも保育園で行事を開催する段取りに役立てています。長澤支部長をはじめお指導を頂いた諸先生の皆様には感謝するばかりです。

また、この頃に現千春第二保育園（国分寺市）の関口先生とお会いして、今でも良いお付き合いをさせて頂いていることにも御縁を感じています。

新たに設立した東京都民間保育園協会では、各団体の研修会主催担当者が集まって研修部会を結成して、民保協設立の理念に沿った研修会を開催していく旨が決まりました。但し各団体が育てた歴史ある研修会を簡単に消滅させる事もいかなものかと論議され、各団体の意見を取り入れつつ、「調整」「中庸」してまとめあげるといふ難しさも経験させて頂きました。

研修部会の部員さんも設立当初から現在まで多くの皆様に参加を頂き、毎月一回の部会ではより良い研修会が開催できるように論議を重ねて参りました。今般の新型コロナウイルス感染症への対策で、オンライン・リモートによる研修会が主流ですが、終息した暁には会場を利用して受講者多数の実技研修を是非復活させてもいいかな～、と思っています。

今後も会員園や各保育園に勤務する職員の皆様に、さらに充実した研修会を開催して各園や職員の総合的な力量のアップ、そしてそれが在籍する子ども達の健やかな成長に繋がるよう、私も微力ながらお力添えが出来ればこれまた幸いです。今までの多種多様の御縁に改めて感謝します。

最後に、只今令和4年3月末。各園におかれましては卒園児とのお別れ、新年度の準備、新規採用者の事務手続き等、大変忙しい頃と思われまふ。発生から2年以上経過している新型コロナウイルス感染症は、今後どうなるのでしょうか？

そして、全世界が懸念しているロシアによるウクライナ侵攻は、多くの乳幼児が被害にあい助けを求め苦しんでいます。日本でも様々な団体、また個人でも出来る限りの支援をしています。義援金の寄付しか出来ない自分の無力感と無念。21世紀の現代に国と国が武力で衝突し、甚大な被害が出る事を誰が予想出来たでしょう。結果、理論武装しても実効武力には敵わないのでしょうか？

様々な思考が交錯しますが、今こうして皆様とご一緒出来る事に改めて感謝しつつこの場をお借りして犠牲になられた市民や兵士の方へは哀悼の意を表します。